



しっぽもひと役



【学校教育目標】やさしさと思いやりで、笑顔がいっぱい
～本物の笑顔あふれる山里小～

長崎市立山里小学校 校長 山崎直人

2つの継続と「平和の玄関」への挑戦

5月の全校集会で「学校生活の基本」として3つの話をしました。

1つめは「ワンストップ先言後礼」の挨拶を続けようという話です。昨年度から取り入れて実践しているこの挨拶の仕方は、山里小の子供たちに随分浸透してきました。一度立ち止まって相手の目を見る、挨拶の言葉を先に言ってから礼をする、という方法です。子供の頃からしっかり身に付けておけば、大きくなっても、社会に出ても役に立つと考えています。

2つめは「もくもく掃除」の継続です。「黙々」の文字のとおり「黙って」やります。「もくもくと」掃除をします。掃除の前の放送を聞く時には既に掃除場所にいます。チャイムの合図で黙想をして掃除が始まります。1年生も6年生の姿を見ながらちゃんとできるようになってきました。山里小の良き伝統となっています。

この2つは、誰もが正しい方法を「している」取組です。けれど本当にちゃんと「している」と言えるだろうか、と投げかけてみました。

「している」から「している」へ

さらなる高まりが楽しみです。

そして3つめは新たな挑戦です。「平和の玄関」を意識しようという取組を始めることにしました。山里小の玄関には、他の学校とは異なるすばらしい財産があります。「永井隆博士の絵と言葉のレリーフ」「平和を祈る千羽鶴」「【あの子】のプレート」「寄贈された平和の絵」「命を感じる生き物たち」などです。この特色ある玄関を「平和の玄関」と名付けました。

そして「平和の玄関」にふさわしい過ごし方について次のように伝えたところです。



大声はふさわしくない
しずかに歩く場所にしたい
元気なあいさつの声はうれしい

玄関は人が一番集まる場所です。大声で騒いだり、走ったりしては迷惑です。しかしそれは単に「廊下を静かに」という名目ではなく、「ここは、平和を意識し感じる玄関なのだ」という感覚を育てたいと思っています。

「大運動会」「教育週間」について

新型コロナウイルス感染症については、長崎市の状況も厳しくなってきました。大運動会については、6月6日に変更しましたが、直前の状況次第ではさらなる変更の可能性もあります。ご迷惑をおかけしますが、その際は、できるだけ早くお知らせいたします。

また、教育週間における「土曜授業」は今年度は実施しないことになりました。授業参観は「学級別」とし、学年フロアの密を避けて行います。様々な制約はありますが「できることを精一杯」模索していきたいと考えています。

ご理解とご協力をよろしくお願い致します。